



2020年5月15日

各 位

会社名 フィールズ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 山本 英俊  
(コード番号: 2767 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 経営管理部長 畑中 英昭  
(電話 03-5784-2111 (代表))

**(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について**

当社は、2019年11月7日に開示いたしました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年5月15日)付「過年度決算等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。

以 上



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 フィールズ株式会社  
 コード番号 2767 URL <https://www.fields.biz/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 山本 英俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 畑中 英昭 (TEL) 03-5784-2111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,772	53.9	△2,750	—	△2,534	—	△2,756	—
2019年3月期第2四半期	18,041	△48.8	△3,906	—	△4,062	—	△3,251	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △3,253百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △2,849百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△83.08	—
2019年3月期第2四半期	△97.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	55,334	31,056	55.4
2019年3月期	67,450	34,638	50.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 30,635百万円 2019年3月期 34,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	—	1,500	—	1,000	—	30.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としています。

通期売上高予想につきましては、現在のパチンコ・パチスロ市場環境を考慮して、売上高を開示していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	34,700,000株	2019年3月期	34,700,000株
2020年3月期2Q	1,516,300株	2019年3月期	1,516,300株
2020年3月期2Q	33,183,700株	2019年3月期2Q	33,183,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績および連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

・当社は2019年11月8日(金)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績および連結業績予想に関する説明

#### ①経営成績に関する説明

パチンコ・パチスロ市場では、メーカー各社による新規則機\*の開発と市場への投入が進められております。適度な消費金額の枠内で多様かつ斬新なゲーム性が味わえる新規則機は、ホールならびにファンから「安心して楽しめるパチンコ・パチスロ」と一定の評価を得ており、市場活性化への期待も高まっております。

このような市場環境の中、当社グループは、これまでにホールに導入されたすべての新規則機のマーケティング分析をユーザー視点から行い、すべての商品をユーザーが楽しめる魅力的な商品としてホールに導入出来るよう、ブラッシュアップしております。

#### 【当上半期(第2四半期連結累計期間)の業績について】

パチンコ・パチスロ流通サービス事業においては、第2四半期は22,600台を販売し、第1四半期の41,900台とあわせて計64,500台(前年同期比50.1%増)を売上計上しました。また、遊技機の設置・点検事業は売上高144百万円(前年同期比約2.4倍増)、WEB広告事業は売上高400百万円(同約3.2倍増)とそれぞれ伸長しました。パチンコ・パチスロ開発部門では、次期以降の開発案件の受注を順調に獲得しております。

その他のカンパニーにおいては、円谷プロダクションは、大型映画作品『シン・ウルトラマン』の制作をはじめ、映画の収益化とライセンス収益の拡大等、様々な施策を進めております。映像制作事業のデジタル・フロンティアは、アニメ、ゲーム、パチンコ・パチスロ等の映像制作の受注により、業績は順調に推移しております。

以上の結果、当上半期における連結業績は、売上高27,772百万円(前年同期比53.9%増)、営業損失2,750百万円(同1,156百万円の改善)、経常損失2,534百万円(同1,527百万円の改善)、親会社株主に帰属する四半期純損失2,756百万円(同494百万円の改善)となりました。

#### ②連結業績予想に関する説明

通期連結業績予想は足元の状況を含めて計画通りに進捗しており、2019年5月15日に「2019年3月期決算短信」で公表した内容に変更はありません。

#### 【2020年3月期 下半期の進捗状況について】

パチンコ・パチスロ流通サービス事業においては、すでに主力タイトルである『新世紀エヴァンゲリオン ～シト、新生～』をはじめ、『パチスロ サラリーマン金太郎～MAX～』、『カードバトルパチスロ ガンダム クロスオーバー』、『ayumi hamasaki ～LIVE in CASINO～』等、複数のパチンコ・パチスロ機の販売を開始しており、第4四半期販売予定機種も市場への投入準備が順調に進んでおります。

円谷プロダクションにおいては、国内外での事業拡大を推進しております。当期は、NETFLIX等での3DCGアニメ『ULTRAMAN』の配信とシーズン2制作ならびにマーチャндаイジング、ライセンスビジネスが、概ね予定通りに進捗しております。

その他のカンパニーも業績は順調であり、当期の事業は計画通りに推移しております。

※2018年2月1日施行「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」及び「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」に基づいた遊技機

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

流動資産は、40,718百万円と前連結会計年度末比6,667百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少、売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、5,178百万円と前連結会計年度末比986百万円の減少となりました。これは主に工具、器具及び備品の減少によるものです。

無形固定資産は、3,009百万円と前連結会計年度末比161百万円の減少となりました。これは主にのれんの減少によるものです。

投資その他の資産は、6,427百万円と前連結会計年度末比4,300百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の減少によるものです。

以上の結果、資産の部は55,334百万円と前連結会計年度末比12,115百万円の減少となりました。

### (負債の部)

流動負債は、16,295百万円と前連結会計年度末比5,178百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少、短期借入金の減少によるものです。

固定負債は、7,982百万円と前連結会計年度末比3,354百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

以上の結果、負債の部は24,278百万円と前連結会計年度末比8,533百万円の減少となりました。

### (純資産の部)

純資産の部は、31,056百万円と前連結会計年度末比3,581百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,581百万円減少し、23,226百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2,361百万円（前年同期は4,177百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失2,744百万円、仕入債務の減少3,080百万円、売上債権の減少1,930百万円、減価償却費726百万円、のれん償却額279百万円などによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1,715百万円（前年同期は1,652百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入3,519百万円、固定資産の取得による支出1,621百万円などによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、4,935百万円（前年同期は531百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出3,324百万円、短期借入金の減少1,496百万円、配当金の支払331百万円などによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,907	23,326
受取手形及び売掛金	6,157	5,795
電子記録債権	1,070	97
商品及び製品	750	545
仕掛品	5,130	5,440
原材料及び貯蔵品	2,229	2,273
その他	3,247	3,365
貸倒引当金	△108	△126
流動資産合計	47,385	40,718
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,676	1,644
その他	4,488	3,534
有形固定資産合計	6,165	5,178
無形固定資産		
のれん	2,715	2,435
その他	455	574
無形固定資産合計	3,170	3,009
投資その他の資産		
投資有価証券	5,785	1,460
長期貸付金	1,738	1,722
その他	4,893	4,919
貸倒引当金	△1,689	△1,673
投資その他の資産合計	10,728	6,427
固定資産合計	20,064	14,616
資産合計	67,450	55,334
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,160	4,966
短期借入金	5,960	4,464
1年内返済予定の長期借入金	2,580	2,663
未払法人税等	120	75
賞与引当金	249	259
役員賞与引当金	10	4
その他	4,391	3,861
流動負債合計	21,474	16,295
固定負債		
長期借入金	6,847	3,689
退職給付に係る負債	628	642
資産除去債務	903	882
その他	2,957	2,767
固定負債合計	11,337	7,982
負債合計	32,811	24,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,579	7,579
利益剰余金	19,904	16,815
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	33,610	30,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	598	87
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整累計額	23	24
その他の包括利益累計額合計	622	112
非支配株主持分	404	421
純資産合計	34,638	31,056
負債純資産合計	67,450	55,334



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	18,041	27,772
売上原価	14,189	23,620
売上総利益	3,852	4,151
販売費及び一般管理費	7,759	6,902
営業損失(△)	△3,906	△2,750
営業外収益		
受取利息	52	14
受取配当金	78	79
仕入割引	37	107
持分法による投資利益	—	42
出資分配金	85	11
その他	68	56
営業外収益合計	323	313
営業外費用		
支払利息	39	34
持分法による投資損失	421	—
出資金償却	1	—
資金調達費用	1	23
その他	14	39
営業外費用合計	478	97
経常損失(△)	△4,062	△2,534
特別利益		
固定資産売却益	18	16
投資有価証券売却益	361	—
関係会社株式売却益	1,400	—
関係会社清算益	—	17
その他	9	—
特別利益合計	1,790	34
特別損失		
固定資産除却損	38	0
減損損失	315	—
投資有価証券売却損	—	212
事業再編損	386	—
訴訟関連損失	63	30
その他	59	1
特別損失合計	863	244
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,135	△2,744
法人税等	100	△0
四半期純損失(△)	△3,236	△2,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	12
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,251	△2,756

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△3,236	△2,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364	△511
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	21	1
その他の包括利益合計	386	△509
四半期包括利益	△2,849	△3,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,867	△3,270
非支配株主に係る四半期包括利益	17	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,135	△2,744
減価償却費	527	726
減損損失	315	—
のれん償却額	155	279
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△35	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	15
受取利息及び受取配当金	△130	△94
持分法による投資損益(△は益)	421	△42
支払利息	39	34
売上債権の増減額(△は増加)	3,042	1,930
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,286	△149
商品化権前渡金の増減額(△は増加)	△84	△153
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,610	△3,080
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,348	—
その他	966	881
小計	△4,650	△2,390
利息及び配当金の受取額	132	94
利息の支払額	△39	△34
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	381	△30
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,177</b>	<b>△2,361</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△145	△1,413
有形固定資産の売却による収入	117	48
無形固定資産の取得による支出	△66	△207
投資有価証券の償還による収入	—	200
投資有価証券の売却による収入	528	3,519
関係会社株式の取得による支出	—	△10
関係会社株式の売却による収入	1,800	1
貸付けによる支出	△140	—
貸付金の回収による収入	24	24
その他	△465	△446
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,652</b>	<b>1,715</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	938	△1,496
長期借入れによる収入	—	250
長期借入金の返済による支出	△1,290	△3,324
配当金の支払額	△168	△331
その他	△11	△33
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△531</b>	<b>△4,935</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,055	△5,581
現金及び現金同等物の期首残高	24,373	28,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,318	23,226

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。